

○ 世界の諸地域の地域的特色について主題を設けて行う学習はどう進めればよいのか。

世界の諸地域について、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。

（ 内容の取扱い ）

- ・ 州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにする。
- ・ 主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定する。また、州ごとに異なるものとなるようにする。
- ・ 主題は、取り上げる地理的事象、既習内容、主題の難易度、生徒の生活経験、想定される学習活動、配当授業時数との関係などを勘案して、設定する。主題の設定に際しては、主題を追究する時間を確保するという観点から、各州一つ又は二つの主題に絞って展開することが適切である。

【 具体的指導例 】

1 アジア：＜主題例＞人口急増と多様な民族・文化

“なぜアジアでは人口が急増し、民族、文化が多様なのか”という問いを立て、アジアにおける人口急増地域の分布、産業発展と人々の生活のかかわり、民族や宗教分布、宗教と生活とのかかわり、宗教の伝播や人口の地域間移動の推移などを追究すると、アジアの人口問題の出現や多様な民族構成、文化形成の背景が分かり、アジアの地域的特色の理解につながる。

2 ヨーロッパ：＜主題例＞E Uの発展と地域間格差

“E U加盟国では、政治・経済的統合が人々の生活にどのような影響を与えているか”という問いを立て、ヨーロッパにおいてE U加盟国の人々が日常生活で自由に域内の国境を越えて買い物や仕事をしていること、多様な産業が地域で展開している様子、人々の移動、E U内の交通機関による結び付きなどを追究すると、E Uを構成する国の相互関係や域内の地域間格差の実態が分かり、ヨーロッパの地域的特色の理解につながる。